

いっぺいといっぱく Vol.51



市長は長久手をどんなまちにしたいか、そのために何に取り組もうとしているのか。その想いを市長の語り口でお伝えします。みなさんと語り合うように、一緒に未来の長久手のことを考えてみましょう。また、市HP【[によぜがもん](#)】もぜひご覧ください。[市HPのトップページから「[によぜがもん](#)」をクリック。]



本当の市民参加のまちづくりが始まった

今、長久手市では、今後のまちづくりに大きく関わる「計画」と「条例」づくりを進めています。一つは、今後のまちづくりの指針となる「総合計画(愛称:ながくて未来図)」。もう一つは、まちづくりを進めていく上でのルールを定めた「(仮称)自治基本条例」です。8月下旬から9月上旬にかけて、この「計画」と「条例」を広く、市民のみなさんに知ってもらい、話し合い、考える会合を小学校区ごとに開催したところ、6小学校区で約230人に参加をいただきました。私も、すべての小学校区に顔を出させていただきました。

会合では、自分が暮らす小学校区の好きなところ、課題に感じるところを個人で書き出した後、同じ課題を持つ人同士がグループになり、グループごとに、例えば、「防犯パトロールの数を日本一にするには?」といった「課題解決のために、つい行動したくなる問い掛け」を考えました。

終了後のアンケートでは、「みんなが同じようなことで悩んでいることが分かり、少し安心した」「多くの問題が、人と人がつながることで解決できると感じた」「こうした場に出てみるのもいいなと感じた」等のほか、「意見をどう計画に反映していくのか見えない」といった感想もいただきました。

6回とも、経営企画課の職員が進行役を務めました。回を重ねるにつれ、進行が上手になりました。市民として参加した経営企画課以外の職員の中には、同じ市職員が進行役を務める姿に刺激を受けた者も多数いたようです。

本市の最初の総合計画は、昭和49年に作られましたが、そのとき既に「住民参加」と書かれていました。以降、現在の第5次総合計画まで、いずれにも「住民参加のまちづくり」と書かれていますが、未だに「住民参加のまちづくり」は実現できていないと思っています。

今回、次期総合計画のために集まった市民のみなさんがイキイキとした笑顔で、ワクワクしながら話し合っている姿、職員が互いに刺激を受けて取り組む姿を見て、私は、今、まさに「本当の市民参加のまちづくりが始まった」と感じています。



参加者のみなさんと記念撮影

一方で、市主催の取組への参加をためらう方にお聞きすると、「市のことを全く知らないから意見を言えない。だから、参加しない」と言われる方がいらっしゃいますが、見学だけでも大丈夫です。「今日は、見学だけ」と受付でおっしゃってください。まずは、一人でも多くの方々に、市民のみなさんがイキイキと話し合いをする姿を見ていただきたいと思います。

次期総合計画(愛称:ながくて未来図)のテーマ別検討会		
11/3 (金・祝)	9:30 ~ 12:00	福祉の家 2階集会室
11/26 (日)	9:30 ~ 12:00	福祉の家 2階集会室

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください



長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付



表紙の写真もう一枚



9月30日から10月22日まで「ながくてアートフェスティバル2017」が開催され、市内各地でアート作品の展示やワークショップなどが行われました。アートを見て、聞いて、触って、作って...それぞれの楽しみ方で、芸術の秋を満喫していました。

広報ながくてを事業所へ

今月号から、広報ながくてについて事業所のみなさんへの配布を開始します。広報ながくての配布に関してはお気軽に情報課までお問い合わせください。

問 情報課 ☎ 56-0601

